



東靴協会の皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、未曾有の経験を経験いたしました。一日も早い終息を願うのみです。協会も昨年設立70周年を迎え、コロナ禍で記念式典は予定していた内容で開催することができませんでしたが、役員のみで神田明神の権禰宣・岸川雅範様をお迎えして行うことが出来ました。

この70年を振り返ってみると、当協会は1949年11月23日に設立され、早くも1951年には「第1回靴まつり」が実施されました。1954年からの神武景気にはセメント方式での靴の量産体制が確立され、1958年からの岩戸景気では、機械靴メーカーによる外国との技術提携でライセンス生産も行われ、技術的には、ほぼ先進国の水準に達するようになりました。

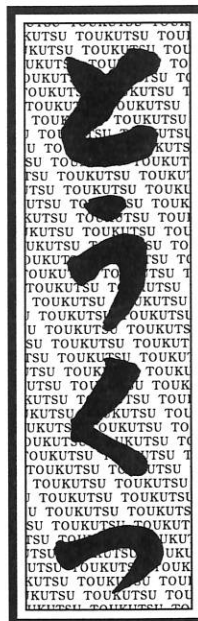
1965年からのいざなぎ景気では、「車」「クーラー」「カラーテレビ」がブームとなり、1973年のオイルショックでは、靴業界にも大きな影響を及ぼし、ただ造って店に並べれば売れた時代は過ぎ去り、消費者から生活者へ、豊かさを物より心に求める時代へと変化しました。

1980年代になると「高齢化社会」「心身ともに健康に生きる」という言葉がキーワードになり、「靴と健康」が重視されるようになり、1986年にはシューフィッター講座が始まりました。また、このころは団塊世代が40代を迎え、

年頭所感

令和三年

一般社団法人 東靴協会
会長 栗原 茂



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(1月号)

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

GNPは世界二位に成長し、ダイエー・西友などの量販店が驚異的に成長しました。しかし、靴業界は注文靴から既製靴への移行が起こり、戦前からの手縫い業者は転廃業するものもあらわれました。

又、改めて客視線で商店街の客層、自店の客層、自店の店頭から何が見えているのか？そして、地域一番の商品はあるか？周辺の競合店やチェーン店を見回すのも良いでしょう。過去からのこだわりを捨て、今何が必要か見直す時だと思ふのです。

新しいテクノロジー、若い世代が好むコミュニケーションツール、若い世代の感性や表現も大切です。そして重要なのは決断することです。厳しい経済、業界環境の中で「東靴協会は古希の70周年を迎えました。この中で今までの先輩がそうだったように、あらゆる逆境にもめげず強くたくましく「明日」に向かって不滅の検討を祈りたい。

参加者募集

日時：令和3年

2月17日(水)・18日(木)

場所：箱根湯本温泉「河鹿荘」

◎お土産付きです。

詳細は別途ご案内いたします。

是非ご参加ください。

お申し込みは事務局まで。

謹賀新年

新しい年を迎え皆様の健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます
本年もよろしくお願いたします
令和三年元旦



「西洋靴150年展」 松永はきもの資料館見学

日本靴連盟では11月20日金曜日に、広島県福山市にある松永はきもの資料館「あしあ」とスクエア」で行われている「西洋靴150年展」の見学ツアーを実施した。



参加者は11名、当協会からは4名が参加した。東京駅8時9分発のぞみ15号に乗りし福山駅へ。そこで昼食をとり山陽本線で松永駅まで向かった。資料館へは13時30分に到着、そこで担当の方の案内で館内を見学した。資料館に着いて目に飛び込んだのは、中庭にある「あしあ」と広場」にあるカラフルな足型をモチーフにした水のない池のオブジェだ。なんと岡本太郎氏が自ら作成したものだ。

資料館は「はきもの玩具館」「伝統産業館」、それに大正11年に建設された「旧マルヤマ商店事務所」。当時は玄関の上バルコニーを持つ本格的西洋建築として話題になった建物だ。横には木造の「職人長屋」が保存され、さらにレンガ造りの「収蔵庫」の建物が2棟存在する。

メインのはきもの玩具館には8つの展示室があり、第1・第2展示室は、履物を中心に展示され、草鞋（わらじ）からアポロ11号が月面着陸した際のルナブーツなど、興味ある履物が数多く展示されている。草鞋から下駄へそして靴に、遍歴が分かりやすく説明されている。



第3・第5展示室には、玩具を中心に展示してある。縁起と玩具の密接な関係や、天神様や雛人形が市民の生活に密接に影響をしていたなど興味ある展示となっている。第7展示室には米国アリゾナ州の先住民族プエブロ族の

カチナ人形が342点収蔵してある。第8展示室は、企画展室で写真展が開催されていた。ロビーには岡倉天心の像や、世界一大きな下駄が展示されていた。目を引いたのは、地元広島カープの歴代の選手が履いていたスパイクシューズや、オリンピックマラソン選手が履いたランニングシューズなどが所狭し、とケースの中に展示されている。



第6展示室では今回の目的でもある、西洋靴150年展が行われている。8月から9月にかけて、浅草、新宿伊勢丹、渋谷スクランブルスクエアで開催（前号掲載）された際にもこの資料も展示されていた。今回は渋谷で展示された靴や資料も展示され見ごたえのある展示となっている。西村勝三の紹介から、手縫い靴の製作の手順、ハイヒールコレクションや広島県の10

人の靴クリエーターの作品紹介。靴デザイナーとして長年靴の企画や業務に携わってきたてらだとしあき氏が、得意の絵筆を生かして作成した夙も展示されていた。

別棟の伝統産業館には、松永の伝統産業の歴史がパネルや実際に使用した機械や道具類が展示されている。



松永は温暖な瀬戸内気候と風土の中「下駄」「藁草」「塩」の産業が発展した。江戸時代に松永の製塩は入浜式塩田として脚光を浴びていた。海水を塩田に引き入れ濃縮する方法で、松永塩の村が誕生した。その後、藁草での草履産業も発展。明治の初めには下駄製造がはじまり新たな松永の産業となる。丸山茂助は明治11年に履物商をひらき、材料を山陰産の油木を探り発展した。工場は機械化を進め、割る・切る・削る・穴あけ・を



約2時間の見学が終了し、中庭の岡本太郎作のオブジェの中で記念写真を撮り、帰路に就いた。福山駅での待ち時間に駅前の松山城を見学したり、ショッピングをしたりして時間を過ごし、17時6分発の、のぞみ44号で東京に向かった。



東靴協会創立70周年 記念式典挙行

令和2年11月23日、午後1時より西村記念ホールに於いて、神田明神・権禰宣・岸川雅範様をお迎えして表記式典の神事が厳かに執り行われた。



〔神事〕

修祓 (宮司二礼二拍手)

祓詞

御祓の儀

招魂の儀 (宮司二礼二拍手)

献饌の儀 (お神酒の開蓋)

祝詞奏上 (宮司二礼二拍手)

玉串奉奠 (参加者全員)

撤饌の儀 (お神酒の開蓋)

送魂の儀

と進み神事は終了した。

尚、玉串奉奠は次の順序で行われた。

東靴協会会長

栗原 茂 様

東靴協会副会長

松戸 福治 様

東靴協会副会長

青木 隆史 様

日本靴小売商連盟会長

小堤 幸雄 様

同時に参加者全員が、起立し、二拍手で参加した。

神事終了後、栗原茂会長より挨拶があり、「近年の厳しい環境の中、おかげさまで70周年を迎えることが出来ました。今年は新型コロナウイルス感染症の為、未曾有の経験をいたしました。一日も早い終息を願っております。70年の歴史の中で、先輩方も、製造の機械化、オイルショック、バブル崩壊など多くの難局を乗り越えて現在に続いています。我々も、逆境に負けず、たくましく明日に向い健闘して進んでまいりましょう」と話した。

続いて日本小売商連盟の小堤幸雄会長より祝辞を頂いた。「本日は、70周年おめでとうございます。私は1948年に生まれ、協会の誕生とほぼ同じです。会長の話を伺い、あれこれ思い出されました。」

コロナ禍の厳しい中ですが、戦後の混乱を体験した方も多くいらつしやるでしょう、先輩たちは困難を乗り越えてきました。コロナに負けず、頑張っていたきたいと思っております。未来に向かい、より良い社会を作って

いこうと思っています」と話し、式典は終了した。

ミカム2021年 春夏コレクション

◎サンダルを中心に
パリエーション豊富な
ローヒール

9月20日から4日間、第90回ミカムが開催された。

来場者は1万6千人となり、25%がスイス、ドイツ、フランスなどのヨーロッパを中心としたイタリア国外から、アメリカや日本などアジアからの来場者はほとんどいなかった。今回の状況を受けてシロ・パドン会長は「今回のミカムは、過去にない見本市となりました。パンデミックは変化をもたらし、我々に至難を与えました。しかし、見本市を開催することでファッション・皮革業界に将来の希望を与えることが出来ました。特にイタリア経済に重要な輸出産業において、ミカムはメイド・イン・イタリアを紹介する役割を担う見本市であるという事を実感しました」とコメントした。

春夏の商品トレンドは、アイテムとして、サンダル・スニーカーの提案が強く、今シーズンはローヒール、スニーカーの厚底は落ち着いた感がある。

ポイントテッド、スクエアト

地元密着 靴のチトセ

FW誌11月号に世田谷支部・靴のチトセが掲載された。京王線下高井戸駅から日大通りに沿い営業している15坪ほどのショップを創業から55年、一代で今日まで続けていく創業者の島崎正旦（しまざきまさのぶ）さん。すでに80代になったが、今も元気に店先に立っている。



下高井戸エリアは学生や若者が多く創業期は東京オリンピックの後だったこともあり、ゴム靴メーカーの運動靴

ウが主流で、ベージュ、パンナ、サルビアとライト&ソフトに仕上げたカラーや素材、一方で印象的なストロングカラーやメタリック素材を採用したコレクションも見られた。素材では、サステナビリティー（持続可能・環境や社会に優しい）の声が上がっているが、製品の方ではまだ本格的な動きにはなっていないようだ。（FW誌より）

が良く売れたという。近くに日大キャンパスがあり、若者が多いことに変わりはないが、顧客は様変わりし、主力顧客は50〜60代以上の高齢者になっている。「当店に来られる方は、もう賑やかな場所には出かけられなくなつた方です。今日も来られた方は80代と90代ですよ。『元気に頑張つてね』と送り出せば『お互いにね』と言われ、同年代の方が多い」と島崎氏。売れる靴も限られ、アサヒシューズ、アキレス、ムーンスターが中心だ。

地元専門店の強みが発揮されるのは、販売した後のフォローだ。足が悪くて困っている人や、飛び込みでの修理の依頼などには、靴づくりを学んだ経験を生かして、丁寧に対応している。複雑で機械が必要な作業は、専門の職人さんと連携して行っている。

創業時にはエリア内に13店舗の靴店があったというが、現在は同店のみだ。連鎖して問屋もなくなり、問題だという。とはいえ、下高井戸商店街は活気に満ちているのが救い。遠方からの買い物客も多い。ついにて寄ってくれるお客様もいるとのこと。広域から引き寄せる商店街の力と、生き生きとした姿を見せてくれる高齢の顧客。このバックグラウンドがあるだけに、島崎さんの商売への意欲は衰えることはないだろう。

靴デザイナー

「高田喜佐」を

読む・聞く・話す

日本の靴150年／記念カルチャーイベントの一環として、12月5日（土）午後3時より浅草・雷門前の浅草文化観光センター6階多目的スペースに於いて、表記のイベントが開催された。



コロナ禍の為、参加人数は20名に制限して行われた。「シューズデザイナーへの道」なぜ靴のデザイナーになったのですか？「静かな会場内に、朗読の声が響き、スタートした。朗読は女優の矢代朝子さん、心に響く朗読で聞き入ってしまう。「服のデザイナーではなく、なぜ靴なのだろうか？たまたま、偶然としか言えない、おしやれば大

好きで…」と続く。中では、喜佐さんが靴のデザインに關わった経緯が、丁寧に書かれている。

「自分がデザインした靴が店頭で飾られ、しかも売れた時の嬉しさは何とも言えない感激だった。」

無名時代の苦労や感動などがつづられている。又、夢や、好奇心も旺盛だったことなどがよくわかる。

最初の朗読が終わると、主催者からの挨拶と、今日の趣旨や流れの説明があり、次の朗読へと進んだ。

休憩の後は、靴ジャーナリストの大谷知子さんと朗読をされた矢代朝子さんの対談（トークショー）が行われた。

喜佐さんの気持や考え方など奥の深いトークショーとなった。トークショーの後、最後の朗読が印象に残ったので、左記に紹介する。

「裸足で遊んでいた幼いころから、下駄とズック靴の小学校時代、中学二年の時に履いた革の靴。大人に憧れ背伸びをして履いていたハイヒール。そして靴のデザイナーになつて30年が過ぎ、いったいどれだけの靴を履いてきただろう。若かったころ60年代から70年代の初めは、履き心地よりファンタジーを優先し、カラフルなハイヒールや厚い底のサンダルを履いていた

し、70年代から80年代はカジュアルな低い底の靴を履き、様々なおしやれを楽しんでいた。そして90年代に入つておしやれも靴も心地よさを求め、よりシンプルに、よりカジュアルになつていく。

この歩みは本当に自分らしい靴を探す長い旅だったような気がする。靴はその人のライフスタイルの表現なのだ。21世紀を目の前にして、どんな靴を履きたいか考える。それは何よりも快適で、なおかつその時代の匂いを感じる、おしやれな靴である。

そして、ローファーと駒下駄を、かつこよく履きこなす、素敵なお婆さんになりたいと願っている。 高田喜佐

「靴の雑誌・カタログ・ポスター・映画パンフ・DM葉書：1000展」

日本の靴150年／記念カルチャーイベントとして、浅草文化観光センター7階展示ホールで表記の展覧会が12月1日～7日まで開催された。会場は「靴産業メモリアル」と題し、靴のファッション誌、シューフィルのバックナンバー、大手紳士靴（機械靴）メーカーの遍歴として、懐かしい工場の写真。靴工30年の歩

み、の写真展。若かったあの頃を思い出す各靴メーカーのポスター展。靴の載った映画のパンフレットを集めた、シューシネマパラダイス。靴がモチーフの国内外のポストカードや、外国のカレンダー、50年代から70年代のアメリカの雑誌広告など、パネルに収まらないほどの量に圧倒され、歴史的にも価値のある展示会だった。



靴専門店・大手三社の直近3か月売上推移

新型コロナウイルス感染症の第3波により、影響の大きかった首都圏の売り上げが落ち込んだ。（チヨダ）

コロナの第3波の影響により、感染拡大地域では集客が減少した。オンラインはブラックフライデーセール効果もあり好調だった。（ABCマート）

コロナの影響で昨対で悪化、商品面では引き続きスポーツ靴と子供靴が好調に推移した。（ジフット）

社名	9月	10月	11月
チヨダ	既存店売上	-21.1	-5.2
	客数	-19.3	-7.0
	客単価	-2.2	1.9
	店舗数	1017	1006
ABCマート	既存店売上	-21.1	4.1
	客数	-15.9	10.7
	客単価	-6.2	-6.0
	店舗数	1038	1040
Gフット	既存店売上	-38.5	-4.7
	客数	-36.3	1.0
	客単価	-3.5	-5.6
	店舗数	863	860

東京都中小企業景況調査(10月)

業 況：持ち直しの動き強まる
見通し：三か月連続上昇

卸売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	10 月		今後3か月間 見 通 し (当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	376	43.0%	-100	0	-100	0
衣料・身の回り品	1. 男子服					
	2. 婦人・子供服					
	3. 靴・履物					
	4. かばん・袋物					
	5. 装身具・身の回り品					

小売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	10 月		今後3か月間 見 通 し (当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	306	35.0%	-100	0	-100	0
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具					
	2. 男子服					
	3. 婦人服					
	4. 子供服					
	5. 靴・履物					
	6. かばん・袋物					
	7. 雑貨・身の回り品					
	8. 時計・眼鏡					
	9. ジュエリー製品					